

会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度 第4回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	平成30年3月26日（月曜日） 午前10時から午前11時頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>（委員）阿部委員 飯田委員 五十嵐委員 池野委員 佐々木委員 沼田委員 長谷川和明委員 長谷川剛委員 藤田委員 本田委員 山口委員 吉田委員 米山委員</p> <p>（事務局）福祉保健部長 福祉総務課長ほか関係職員 福祉課長ほか関係職員 子ども家庭課長ほか関係職員 保育課課長補佐 学校教育課長 健康課長 長岡市社会福祉協議会事務局長ほか関係職員</p>
5 欠席者名	<p>（委員）小田島委員 関委員 土田委員 丸山委員 諸橋委員 横田委員</p>
6 議題	<p>（1）パブリックコメントの結果について （2）第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画・第1期障害児福祉計画（最終案）について （3）その他</p>
7 審議の内容	

発言者	議 事 内 容
福祉総務課課長補佐	<p>皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから平成 29 年度第 4 回障害者施策推進協議会を開会します。</p> <p>本日は、小田島奈緒子委員、関孝幸委員、土田清海委員、丸山直樹委員、諸橋文男委員、横田敏盛委員の 6 名が所用のため欠席でございます。</p> <p>それでは始めに、資料の確認を致します。事前にお配りしました資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の次第 ・ 資料 No. 1 ・ 資料 No. 2 - 1 ・ 資料 No. 2 - 2 ・ 資料 No. 3 <p>でございます。</p> <p>その他、本日お配り致しましたものが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員名簿 ・ 会議の配席図 <p>でございます。</p> <p>以上でございますが、お手元にない方はいらっしゃいませんか。それではさっそく議題に入ります。ここからの進行は本田委員長にお任せしたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>年度末になりまして、来年度は平成 30 年度になります。平成 30 年度から始まる障害者計画の施策推進協議会でございます。障害者基本計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の 3 計画及び地域福祉計画でございます。そのような中で今日は第 4 回目の会議を行っていきたいと思います。効率良く意見を言っていただきながら会議を進行したいと思います。どうぞよろしく申し上げます。さっそく議題に入りたいと思いますが、議題 1 のパブリックコメントの結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
福祉総務課長 学校教育課長 健康課長 福祉課長	<p>(資料 No. 1 に沿って説明)</p>

委員長	<p>パブリックコメントの結果についての説明でした。質問、感想等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>学校教育課の箇所についてですが、早期発見、早期治療の部分において、担任のみならず、全教職員で児童生徒の様子を把握しながら必要に応じて教育相談等個別に対応したり、医療機関等につなげたりしていますとの記載がありますが、今までと同じですよ。現状でやっていることと同じだと思います。この方が書かれたことは精神疾患にもう少し特化してほしいと願いを込めたと思います。それならば、教職員の研修に精神障害、疾患だけではなく、障害に対する教員の研修、向上を高めてもらいたいと思います。この書き方では今までと同じだと思います。改善できるのであれば、教育センター等で検討していただければと思います。今後は教職員のレベルアップが必要になってくると思います。2つ目は保健師が地区担当制になるとのことですが、中心となるコーディネーターというかは保健師がやるのでしょうか。保健師は重要な役割があると思います。保健師はすべての分野で関わっており、その基本的な土台の部分に保健師が入るとするのは非常に重要であると思います。その部分についてはどうお考えであるかお聞きしたいと思います。</p>
委員長	<p>教職員の研修等及び教員の質の向上等についての内容でした。</p>
学校教育課長	<p>委員のおっしゃるとおりだと思います。教育委員会では、担任のみならず、養護教諭や学年部、管理職を含めて行っている最中ですが、まだまだ改善の余地があると言っていたと思います。研修の際も事例発表という形で行っておりますが、今後も引き続き、行っていきたく思っております。学校現場では教職員の多忙化等も言われていますが、一番大事な児童生徒のことでありますので、その部分はしっかり行っていきたく思っております。</p>
健康課長	<p>包括支援センターができるという意味ではなく、包括単位で地区担当の保健師を配置するという意味合いです。保健師がこの地区を担当するということを明確にするということです。高齢の包括支援センターと障害の地区担当が進んでいけばそこが連携していければと思います。どのような連携が良いのかというのはまだ、話が進んでいませんが、市民の方から求めがあったら、地区担当の保健師</p>

委員	<p>が話を聞きに行くということで考えております。</p> <p>意見ですが、地域で共生社会を作るといのは非常に良いことであると思いますが、軸となる人間がいないと回らないと思います。そこで一番相談しやすいのは保健師だと思います。なので、保健師がオールマイティーに動けるように力をつけていって、この地区はこの保健師に聞くと色々な事が分かってというシステムが地域共生社会につながるといいますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。</p>
委員長	<p>地域包括という言葉は高齢福祉の中で良く言われていますが、障害のほうも一体的な形にもっていければと思います。横の連携を強めながらと思います。</p>
福祉保健部長	<p>補足させていただきますが、健康課長は控えめに回答していましたが、まだスタートしていないためどこまでやれるかという不安はありますが、行政側の地域における窓口として、高齢や障害、子どもなど色々な地域の課題がありますので、地域の福祉会や民生委員と連携しながら、トータルな視点でコーディネートするという役割は保健師に期待して、その方向で行っていきたいと考えております。</p>
委員長	<p>地域の中に保健師が入って地域とともにということは前から少し聞いておりました。</p>
委員	<p>昨日はハイブ長岡で地域包括ケアに係る学会をさせていただいておりましたが、限られた人材や予算の中で、また少子化も進んで行く中で、どうしていくのかという話でした。その中でIoTやロボットに頼らざるを得ないなかで、頼らないでいくのはなかなか難しいということでした。長岡として、IoTというものを利用して、地域包括ケアは色々なやり方がある中で、長岡市の地域包括ケアを作っていこうという話もありますが、1つの起爆剤として良いことかなと思います。もう一点は5番の第8章の地域生活支援事業、精神障害者デイサービス事業についてですが、私たちの法人が担当しております、その状況について現場から話を聞きましたので、お話しさせていただきます。精神障害者デイサービス事業の対象者はひ</p>

	<p>きこもり要素が強い、社会的参加が苦手な方が対象でございます。現在ある長時間の就労支援等は苦手な方が多い状況です。その中で、週1回2時間のデイサービスを行っております。そこで次のステップに向かう方もおります。運営内容については、アンケートをとって、社会資源を見たいやデパートにいったり食事をするなどを行っております。また、体育館などでスポーツを行ったりという活動も行っております。この中で議論があることは、卒業する人もいますが、一定の利用者が多いということがあるので、色々な企画を入れていかないと新しい方に間口を広げるのは難しいのかなと思います。そのような中で現場の方から話を聞きましたので、報告させていただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>パブリックコメントの件で質問等ございました。</p>
<p>委員</p>	<p>精神障害者デイサービス事業については、私も関わらせていただいておりますが、重要性については、非常によくわかっております。ただこれは委託事業として運営されているということであれば、お金の使い道が重要です。新たに自発的活動をしたいと思っても、今までの事業があれば新たな事業を行えないという疑問があります。精神障害者デイサービス事業が大事だということはわかっておりますが、予算の出所を替えることはできないのかと思います。自発的活動支援事業ではない所で盛んにしていってもらえないだろうかということがありましたので、補足させていただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>皆様から計画の中身についての質問等いただきました。各関係機関等が連携しながら進めていってほしいと思います。パブリックコメントの内容についてはよろしいでしょうか。他にありませんので、次の第5期計画最終案に移りたいと思います。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>(資料 No. 2 に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>前回ある程度確認した中で修正点等の説明でしたが、皆様から感じたこと等についてありましたらお願いします。 あるようでしたら次の所でということでもよろしいでしょうか。そ</p>

福祉総務課長	<p>れでは次に進みたいと思います。その他について事務局からありますでしょうか。</p> <p>(資料 No. 3 に沿って説明)</p>
委員長	<p>福祉計画の中の最上位計画として、地域共生社会をいかに作っていくのかという部分での話でした。</p>
委員	<p>素晴らしい計画を作っていてありがとうございました。商工会議所ということで行きますと、障害者の方の就労支援をいかにつなげるかという所です。法的雇用率を達成しているのは 64%ということでしたが、では残りの 4 割に働きかけるということが大事になります。しかし、ただ数字だけを達成するよりは、裏にある障害者をみんなで受け入れるような社会にするということが重要であると思います。数字上は増えつつあるということですが、どうやって社会全体が受け入れるかという意識を向けられるよう地域共生社会の図にあるように実現できればと思います。</p>
委員長	<p>雇用についての話でありました。</p>
委員	<p>30 年度においては、精神障害者の雇用促進及び事業所に対する理解促進に重点を置いて行っている所であります。企業で身体及び知的は理解が進んでいっておりますが、それに比べると精神障害者は理解が進んでいない状況です。セミナーや専門の職員が企業を集めて、企業の方に精神障害者の特性を理解いただいて、職場内で支援や見守りをしていただく方のための講座を回数を増やして行っていきたいと思っております。また、そういった周知をやっていききたいと思います。</p>
委員長	<p>地域福祉計画のみならず、高齢や障害を含めての話ですが、その他はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>医療の問題が重要な問題となっております。利用者本人が高齢となっております。保護者の方も高齢となっております。後見人についても問題があります。一例を話しますと、後見人が医者からある医療についてよいと話をしたら、その医療を受けた方が亡くなら</p>

	<p>れて、補償問題になったということがありました。また、推進協議会の委員名簿が載っておりますが、名簿を見ますと、長岡地域の方が多くおり、越路、栃尾の方がおります。せっかく合併したので、合併地域の方も市民代表で協議会に出て頂いてもいいのかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>地域福祉また、障害計画の話で進んできましたが、他に意見等ございませんでしょうか。では、この協議会も本日で4回目になりますが、皆様から一言ずつ、今年度の感想等を言っていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>4回参加させていただき、大変勉強になりました。我々も積極的に障害者の雇用だけに限らず、外に発信していかなければいけないと感じました。ここだけに終わらず、ここで学んだことを現場で活かせるように、計画の推進にあたって、役に立てるように頑張っていかなければと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>すべて参加できませんでしたが、3年ごとに作られる計画内容がレベルアップしており、親として親亡き後のことまで、不足分はあるかもしれませんが、子どもがどのように生活していくのかをイメージできるような体制が今後も作られていくことを少しずつ感じ取ることができました。</p>
<p>委員</p>	<p>今回の計画には期待することが大きいです。しかし、不安材料もたくさんありまして、地域移行が進まないことや後見制度の使い勝手が悪いことなどがあります。上手くいかないだけの理由が存在していると思います。それにはどこかで踏み込んでいかないといけないと思います。漠然とした不安があります。また、ぜひ医療の方にも色々御努力されていると思いますが、地域で暮らす障害者の医療という視点で地域に出てきてくださればと思います。それをそのままにしておくと同じままになると思います。色々不安はありますが、今回はきつとうまくいくだらうと期待を持っているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>1年間参加させていただき、大変勉強になりました。この計画が上手くいくようにぜひやっていたらと思います。育成会として、</p>

委員	<p>この部分について協力してほしいと依頼をいただければぜひ協力させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>ハローワークでの分野が多種多様化していることもあります。障害者の施策というと教育と福祉、就労雇用の部分に分かれていると思います。福祉にいた人はずっと福祉という形になっています。そういう中で福祉にいた人がなかなか就労に結びつかないということがありますので、こういった計画の中で最終的に就労に移行できるように互いに連携をとって、全体的に上手くいくように施策をやっていきたいと思います。</p>
委員	<p>私には3人の子どもがいて、一人の子どもには精神障害と知的障害があります。この会議に出て、今まで考えて、子どもにやってきたことがあります。この会議でこのような事が話し合われているということを知って、自分にできることはあるかなと考えておりました。残りあと2年、会議に参加して、地域で苦勞されている方に色々なことを発信していきたいと思いました、</p>
副委員長	<p>今回、地域福祉計画が出来あがって、16 ページの箇所が私の分野と関係しているところです。近所、地域のつながりを作りということですが、現在は血縁の方も少なくなり、核家族化になっております。その中で地域の方と顔見知りになるということが大事です。顔見知りになれば、困っていたら助けてあげようやボランティアをしてあげようとなります。そうすると福祉の勉強をしようとなります。したがってまずはこのような顔見知りが重要になると思います。私は大学で地域交流の場づくりを行っております。おじいちゃんおばあちゃんや障害を持っている子どもなどが一緒に遊んでいます。一緒に遊ぶことで、各々の気持ちもわかってくるということになります。そのような活動を続けながら、顔見知りを結わえるという活動をしていきたいと思っております。そのような活動が必要な所があれば行きたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>住みたいまち、安心して生活できるようにということで、地域コミュニティが一番大事だと思いますが、我々、民生委員の立場として、高齢者や子どもには目を向けておりますが、障害者にはなかなか目を向けられていないというのが現状です。そのようなことで、</p>

委員	<p>地域にどれだけの方がいるのかというのをもう一度把握して、取り組んでいきたいと思います。民生委員は色々なことに関わっておりますので、そのあたりがジレンマかなと思っております。</p> <p>地域共生社会のイメージ図がありますが、文字やグラフで書かれた計画書ではありますが、図を見るとほっとするなという思いです。私も支える側であったり、支えられる側であったりするわけですが、ひと事でなくわが事であると非常に感じられます。その中で会に参加させていただいて勉強になりました。</p>
委員	<p>この計画ですが、昨年度の実態調査を踏まえた中で素晴らしい計画を作られたと思います。私たち新潟県の健康福祉環境部では、組織として保健所、児童相談所、県の福祉事務所がございます。イメージ図の中で関係機関として関わっておりますので、それぞれの分野で今後ますます連携を図っていきながら、地域の福祉の向上に役立っていきたいと思いますので、今後ますますよろしく願います。</p>
委員	<p>今まで会議に参加させていただき、ありがとうございました。私は当事者ですが、他の皆様は障害を持っている方や、家族の方がおります。壁のない長岡市を目指してほしいと思います。</p>
委員	<p>素晴らしい計画を作ってくださいまして、一步一步実現に向けていかれることを期待しております。包括支援センターがありますが、国でも上から目線だとか話があります。包括支援というと当事者から言わせると肌に合わないと思います。行政からの立場だと包括支援となるのかなと思います。これから、地域福祉計画が出来たなかで地域に密着した支援を進めるのであれば包括支援ではなく、何か良い言葉がないかなと考えております。誰でも使いやすい制度ということでお願いできればと思います。会議の開催時間についてですが、午前中の会議だと私は非常に出にくいいため、会議時間について工夫いただければと思います。</p>
委員長	<p>この4回を通じてですが、差別解消法が昨年出来まして、お互いの配慮等が非常に重要です。計画は冊子を作るのが目的ではなく、推進していくのが大切です。皆さんが主役だと思いますので、お互</p>

	<p>いに意見を言う、行動を起こす、支え合いなどが重要です。制度は行政の方で進んできておりますので、地域の方で皆様方と協力していきたいと思います。年度末のお忙しいなか大変ありがとうございました。今後また、進捗管理がございましたので、また御協力いただければと思います。以上で進行を事務局の方へ戻したいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>今回の案を成案とさせていただき、完成形とさせていただきます。約1年間にあたり大変ありがとうございました。しかし、委員の皆様は任期は3年となっております、進捗管理をしていただくという重要な役割があります。次回の会議につきましては、来年の1月または2月頃の午後に開催させていただきます。開催期日等は調整させていただき、御連絡させていただきます。</p>
<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>閉会にあたりまして、小村福祉保健部長より御挨拶申し上げます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>皆様、1年間にわたり、御助言等をいただき大変ありがとうございました。計画は出来あがりしましたが、これからは計画に書いてあることを実施していく進捗管理がありますので、よろしく願います。実施をしていく体制にあたりまして、福祉保健部の中では保健師の再編を初めようという所です。地域の中に保健師が出て行って、行政の窓口として、高齢や障害の分野を横断した形で地域の課題を解決していくという試みも始まります。また、商工部の中に障害者の就労の促進に向けた新たな係も出来ました。商工部と福祉保健部が連携をして、障害者の就労に向けた取り組みを効果が出るように行っていきたいと思います。また、今回は地域福祉計画という高齢と障害の分野を網羅した長岡市としてのビジョンをまとめた計画を独立して策定した記念すべき計画策定になったと思います。今後これらを実現していくように、市としても努力していきたいと思います。委員の皆様にも会議だけではなく、日ごろから忌憚のない意見をいただければと思います。1年間ありがとうございました。</p>
<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>計画書につきましては、製本しまして、皆様のお手元には、4月中に届くようにお送りしたいと思います。また、本日の会議録につ</p>

